

【ミサイル発射に伴うJアラート発信時の対応】

学校危機管理対応マニュアル追記事項(2017.9.1)

- ・ Jアラートからの緊急情報は学校近くに設置してある屋外スピーカーから発信される。
- ・ ミサイルは数秒または数分後に落下するので、全校児童に管理職や担当者から統一した指示はしない。したがって、Jアラートの発信音が聞こえたら、児童の近くにいる教員が以下のような指示と誘導を行う。

【グラウンドや中庭、あるいは学校近くで校外学習をしている場合の行動】

校舎や体育館に避難する。ただし、学校に戻るまでに時間がかかる場合は近くの民家に避難をお願いする。また、プールの場合の避難場所は更衣室とする。

【屋内にいる場合の行動】

外に面した窓から離れ、廊下と教室を隔てる壁等に身を寄せて、低い姿勢を取り頭部を守る。

【ミサイルが着弾した場合の行動】

エアコンや換気扇を止め、窓を閉めるなどで室内を密閉する。

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って落ち着いて行動する。この場合は職員室等から管理職や担当者が放送や肉声で指示を出す。なお、地下室に近い状況の候補として、体育館ステージ下があるが、移動で危険があると判断した場合は利用しない。